

町発展への功績をたたえる

令和元年度善行・功労者表彰式

公共の福祉の増進に貢献された人や町民の模範となるべき人を表彰する町善行・功労者表彰式が、11月22日(金)に総合文化センター「パルナス」で行われ、1団体と個人17人のうち、出席者1団体・8個人に濱館町長から賞状と記念品の目録が手渡されました。濱館町長は功績をたたえながら「これからも一層の活躍を期待します」とあいさつしました。受賞者を代表して成田薫さんが「これからも町発展のため、出来ることに精一杯取り組んでいきます」と謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。

【個人功労表彰】

- ・宮越 寛
- ・成田 金春
- ・成田 薫
- ・赤石 一樹
- ・片岡 徳和
- ・古川 彰一
- ・高杉 敬子
- ・太田 節子
- ・秋田谷ちづ子
- ・成田 みつ子
- ・成田 いね子
- ・西澤 美子
- ・成田 ひとみ
- ・成田 多徳
- ・藪田 俊博
- ・熊谷 明彦
- ・磯野 弘子

【団体功労表彰】

- ・小泊海岸を守る会



刺身が旨い！ 津軽海峡メバル！！

岡山・香川県にて
青森県フェアでPR活動

11月14日(木)から17日(日)の期間において岡山・香川県内にある大手量販店、山陽マルナカ・マルナカの約200店舗で、あおり産品を一同に集め販売する「青森県フェア」が開催されました。このイベントは、2011年に青森県とイオン株式会社が包括協定を締結したことから、2012年より青森県の「食」や「観光」などをPRするために開催され今年で8回目の開催になります。今回、中泊町からは「津軽海峡メバル」と加工品の「ハトムギかりんとう」が店頭に並びました。

16日(土)のPRセレモニーでは三村県知事とともに、産地代表者として濱館町長と、青森県若手生産者まごころ伝え隊(AMT)に選ばれた中泊活ハマクラブ会長の宮下一也さんが登壇して、津軽海峡メバルの魅力を紹介しました。セレモニーが終わると、町独自のPRイベントを実施し、「津軽海峡メバル」の刺身の試食提供を行いました。

この地域ではメバルを生で食べる習慣がなく、煮付けや塩焼きというのが定番になっているため、刺身の食感に驚く人が多く、店舗で用意していた津軽海峡メバルはあっという間に完売となり、PRは大盛況の内に幕を閉じました。中泊町では、県外でのPR活動を販路拡大の出口対策と位置づけ、直接消費者へ売り込むことで、認知度と消費の拡大を促す狙いがあります。



ひまわりのような笑顔で誕生日

坂田きやさん100歳顕彰

100歳の誕生日を11月18日(月)に迎えた坂田きやさんが、入所先の在宅型有料老人ホーム「花まる」(管理者・田中大巳)で濱館町長から顕彰状などが手渡されました。

園芸が趣味で、入所後も施設内の花の手入れを楽しんでしているそうで、職員からは坂田さんが大好きなひまわりの造花が贈られていました。

家族をはじめ職員や入所者から祝福を受けた坂田さんは「最高に嬉しいです。これからもよろしくお願ひします」と笑顔で話してくれました。



自身の手でメバルをさばく

中里中でメバルの調理体験

漁業への関心を高めてもらおうと、今年から実施している「さかなと海”ふれあい体験学習事業」が11月21日(木)に中里中学校2年生を対象に、同校調理室で行われました。

この事業は、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」が観光客から好評を得る一方で、子どもたちが漁業や魚に関心を持つ機会が減っていることから実施に至りました。

この日の講師である下前漁協婦人部部長の長内エツ子さんは「体験したことを後輩たちにも伝えて、地元の特産品をどんどん食べていって欲しい」と話しました。生徒たちはさばき方に苦戦しながらも、刺身と煮付けの2品目を調理しました。

翌日22日(金)には同中学校のもう一つの学級でも調理体験が行われました。



国防担う人材確保を目指し

自衛官募集相談員へ辞令交付

自衛官を志望する人たちへの広報活動などを行う「自衛官募集相談員」の委嘱辞令が、11月22日(金)に役場町長室で手渡されました。

今回、木村政和青森地方協力本部長と濱館町長からの連名で委嘱された人は、成田寛さん(薄市)、大川幸勝さん(大沢内)、加賀田茂さん(大沢内)です。辞令を受け取った3人は「国防に関わる大事な仕事なので、優秀な人材の確保や、応募を考えている人の助けになりたい」と活動の抱負を話しました。

任期は11月22日からの2年間で、自衛官の募集に関する相談業務を行います。



得意とする踊りや歌の発表会

第14回中泊町老人クラブ連合会芸能大会

中泊町老人クラブ連合会が14回目を数える芸能大会を11月29日(金)に総合文化センター「パルナス」で開催しました。

開会式では同会長の中村盛江さんが「趣味や特技にしている歌や踊りは健康長寿の源の一つです。練習の成果を十分に発揮し、会場一体となって楽しみましょう」とあいさつしました。続いて、濱館町長が祝辞を述べ、町が取り組む事業などをスクリーンを使って発表しました。

オープニングステージでは、中泊町健康ダンス「べえ子ちゃん」がダンスを2曲披露しました。芸能大会では、19団体が日頃の練習の成果を披露し、歌やダンスなどで会場を沸かせていました。



大舞台での試合を控えて

佐藤洸史郎君が表敬訪問

「NPB12球団ジュニアトーナメント」への出場を前に、佐藤洸史郎君(薄市小6年・NSゴールドスターズ)が濱館町長の元を訪れ、出場報告をしました。

NPB12球団ジュニアトーナメントは、社団法人日本野球機構(NPB)とプロ野球12球団が主催。各球団のOB選手が各チームの監督に就任し、チームは小学校5・6年生で構成されます。

佐藤君は県勢4人の内の1人で、楽天イーグルスジュニアの一員として出場します。ポジションはセカンドとピッチャーで背番号は18番です。同大会には現役プロ野球選手も参加していたことを受けて、

佐藤君は「将来はみんなに褒められる選手になれるよう、周りの選手に負けずに日本一を目指したい」と意気込みました。大会は12月27日(金)から29日(日)に札幌ドーム(北海道)で開催され、去年は楽天イーグルスジュニアが13年ぶりの優勝を果たしています。

除排雪業務の安全を願って

町建設業協会が安全祈願

町建設業協会(会長・平山久宗)が、12月5日(木)に大沢内克雪センターで、除排雪作業の安全祈願を行いました。

祈願には濱館町長や同協会関係者など約30人が参加し、除雪や排雪作業の安全を祈りました。

祈願終了後、町長は「事故のないよう除雪し、町民の生活と生業を守るためにも、よろしくお祈りします」と話しました。

